

目 次

はじめに	1
I. 旅行とは（旅、日常から非日常への開放）	2
1. 旅行の基本的条件の整理	2
2. 旅行の楽しみとは	2
II. 我が国の現状と地域の課題	2
1. 経済要素としての観光必要性・国と地方の役割	2
2. 日本の国際観光を巡る現状	3
3. 地域が抱えている課題	5
III. さて観光立国です。あなたは大丈夫？	6
1. 想像できてしまう、「観光立国のシャイなおもてなし」	6
2. 見えない心のハードルを下げていこう	6
3. 国と地域の課題解決に向けて	7
IV 地域活性化のための新たな外国人観光客の導入施策	7
【提言1】観光客受容れ態勢の充実	7
【提言2】観光地広域化に向けた連携	9
【提言3】観光推進施策の「見える化」	10
おわりに	13

外国人観光客誘致による地域の活性化について

～「観光」から「感幸」へ～

現状

- 外国人観光客誘致は成長分野として期待が高い。
- 都市部における地縁的なつながり等の希薄化、地方における人口減少、高齢化によりコミュニティが衰退してきている。

課題

各地域が個々に取組を行っており、効果的・効率的な誘致が行われていない。

コミュニティの衰退により「人と人」、「人と地域」との繋がりが薄れている。

観光客が来ることによるメリットが住民に理解されていない。



提言 1

観光客受入れ態勢の充実

地域住民同士や地域住民と観光客との心をつなぎ、「縁」を育む感幸水先案内人を配置・育成し、誰もが幸せを感じる（感幸）まちづくりを行います。

提言 2

観光地広域化に向けた連携

観光客の視点での「心の広域化」を行います。（食、温泉、景観、歴史等によるストーリー性のある観光コースを設定し、テーマに応じた広域化を行う。）

提言 3

観光推進施策の「見える化」

観光客の増加による地域住民の生活しづらさに対して、観光振興を行うことによる効果等を誰にでも見える形で提示することにより、理解と協力が得られます。

効果

地域の魅力の再構築を図るとともに、観光客のみならず、地域住民が幸せを感じる社会を実現することにより地域活性化を図ります。